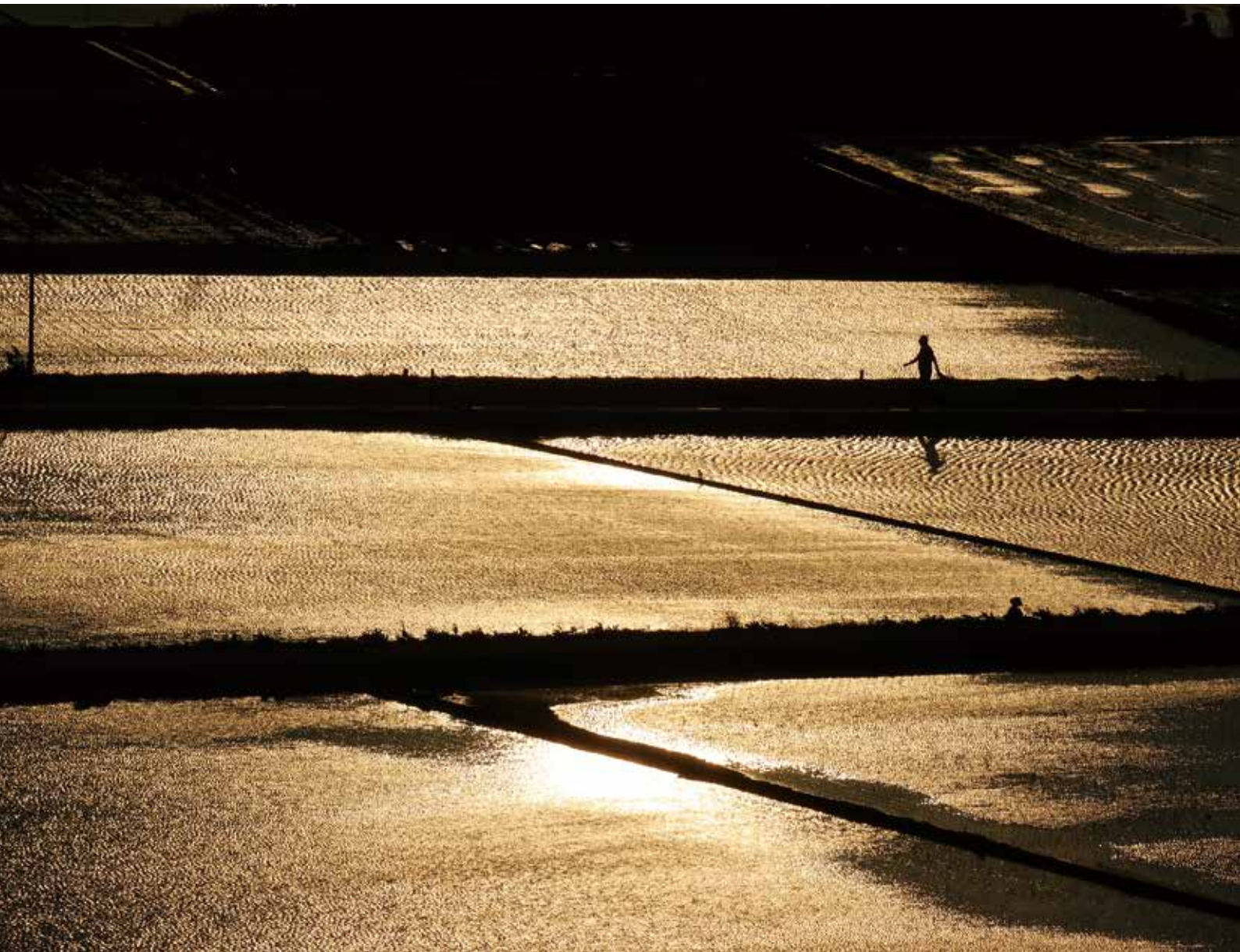


EverGreen

エバーグリーン

特集

JAグリーン長野 第33回通常総代会 ～人と人との絆の強化と次世代につなぐ協同の輪～



目次

第33回通常総代会開催	2	農力アップ塾	16
Special Issue 特集	4	今月のオススメ!	18
Green Topics	12	JAポスト	21
Member's Power	14	Green Information	22
健康長寿学	15		

J Aグリーン長野 第33回通常総代会

この地域農業の灯を次世代へ

J Aグリーン長野は5月27日、松代町のメルキュール長野松代リゾート&スパ(旧名称 ロイヤルホテル長野)で「第33回通常総代会」を開きました。出席者の協力により円滑に議事がすすみ、全7議案と「持続可能な農業の確立と食料安全保障の強化に向けた緊急決議」を審議し、原案どおりに承認いただきました。



栗林組合長あいさつ

みなさまには日頃より当J Aの運営に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私たちが置かれている農業環境は、かつてないほどの厳しい局面を迎えております。

第一に、担い手の減少と高齢化が加速しております。地域農業の将来を支える力が弱まりつつあることは、食料安全保障の観点からも極めて深刻な課題です。

第二に、気候変動による影響です。近



年の激甚化する異常気象は、従来の農業

技術だけでは対応しきれない事態を招いており、農作物の品質や収量に大きな不安をもたらしております。さらに、国際情勢も大きな重石となっております。中

東情勢の緊迫やウクライナ侵攻の影響を受け、肥料や農薬などの生産資材価格、さらには燃料価格の高騰が長期化しております。これにより、多くの農家のみなさまが経営維持に頭を悩ませておられることと拝察いたします。このような逆風の中でこそ、私たちはJ Aの原点に立ち返らねばなりません。J Aは組合員のみなさま一人ひとりのくらしと経営を守るための皆です。

当J Aといたしましては、生産コストを抑制するための共同購入の強化や、より効率的な営農指導を徹底いたします。また、スマート農業技術の導入を推進し、省力化と収益性の向上を目指すとともに、行政や関係機関と連携した鳥獣害対策の抜本的強化や、次代を担う農業者の育成

に全力を注いでまいります。私たちは、どんな困難な状況にあっても、組合員のみなさまと共に歩み、知恵を出し合い、この地域農業の灯を次世代へとつないでいく覚悟です。

本年度は資材価格の高騰や厳しい気象条件という極めて困難な環境下にありましたが、みなさまのご理解と多大なるご協力のおかげをもちまして、当初掲げました事業計画の目標を無事達成することができました。

これもひとえに、地域の農業を支え、J Aの事業活動に多大なる参画をいただいた組合員のみなさまのお力添えの賜物であり、心より深く感謝申し上げます。

この成果を自信とし、次年度もみなさまの農業経営とくらしを守り抜くために、役員一丸となって邁進していく所存です。引き続き、変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年5月27日

代表理事組合長 栗林和洋

総会の成立を宣言

議長には、鶴田明久さん（塩崎）と峯村三男さん（更北）が就任。円滑な議事運営への協力を求め、出席者について、総会成立要件の半数を超えていることを確認し、総会の成立を宣言しました。



議長を務めた鶴田さん(左)と峯村さん(右)

総代定数	554名
本人出席	102名
書面出席	399名
代理人出席	1名

令和7年度決算を報告

第1号議案「令和7年度事業報告、事業報告の附属明細書および剰余金処分案の承認について」を映像で報告したのち、滝澤明人専務より事業利益や剰余金処分案を説明。その後、第2号議案「地域農業振興対策積立金目標額の増額について」、第3号議案「リスク対策強化積立金目標額の増額について」を上程し、あわせて、藤牧好明代表監事が適正に事業運営されていると監査意見を報告しました。出席者からは、事業分量配当金につい

て、組合員へ配当金の増額などの質疑、要望がされ、滝澤専務がより多くの組合員のみなさまにメリットを感じてもらうため出資配当金の増額、JAの経営基盤をより強固なものにすることを優先し内部留保を行う旨を説明し、引き続き協力と利用を求めました。

採決は出席総代の挙手により行われ、議長が会場の挙手状況と書面議決書の回答を合わせて、議案の可決を宣言しました。これにより、令和7年度実績は、事業総利益33億9,801万円（計画比101.0%）となり、剰余金より「出資配当金」と「事業分量配当金」の組合員への還元を決定しました。



議案を説明する滝澤専務

令和8年度事業計画ならびに収支計画を可決

第4号議案は映像で上程後、滝澤専務より令和8年度は事業総利益33億3、

620万円の確保を計画することを提案しました。質疑応答後、挙手による採決の結果、原案どおりに可決されました。

協同の力を発揮し、農業と地域社会に根ざした組織へ

第5号議案から第7号議案も原案通りに可決され、議長の円滑な進行により議事が終了。議長退任後、「農業を巡る情勢が大きく変わろうとも、組合員と将来の担い手が希望をもって農業を続けられる社会の実現」に向け、JAグループの取り

組みとして「持続可能な農業の確立と食料安全保障の強化に向けた緊急決議」を小林寛久常務が読み上げ、大きな拍手をもって承認を確認しました。

最後に、出席者全員で万歳三唱を行い、JAの協同組合運動のさらなる発展を祈念しました。

本総代会の開催にあたり、先に開催した支所総代会により多くのみなさまにご出席・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

挙手で賛成を表明



審議・承認された議案

- 第1号議案** 令和7年度事業報告、事業報告の附属明細書および剰余金処分案の承認について
- 第2号議案** 地域農業振興対策積立金目標額の増額について
- 第3号議案** リスク対策強化積立金目標額の増額について
- 第4号議案** 令和8年度事業計画ならびに収支計画の設定について
- 第5号議案** 令和8年度賦課金の額、賦課の方法、徴収の時期および徴収方法の決定について
- 第6号議案** 令和8年度における理事および監事の報酬決定について
- 第7号議案** 宅地等供給事業実施規程の変更について

総代会で承認いただいた議案について

【第1号議案】令和7年度事業報告、事業報告の附属明細書および剰余金処分案について

令和7年度の経済は、物価高や人手不足の影響が続くなか、賃上げの浸透や企業の投資意欲に支えられ、緩やかな景気回復基調となりました。一方で、長引くコスト増に加え、激甚化する自然災害等が経済活動に与える影響は避けられず、持続的な成長に向けた構造改革が急務となっています。

農業分野では、生産資材価格の高騰や深刻な人手不足の対応が喫緊の課題となりました。こうした状況下、改正食料・農業・農村基本法のもと、食料安全保障の強化や農畜産物の適正な価格形成に向けた取り組みが進んでいます。令和7年度の当JA管内の農業をめぐるのは、凍霜害被害は少なかったものの、近年の傾向である異常気象が、農作物の品質低下や収穫量の減少を招くなど、生産現場にとっては厳しい状況が続いてきました。

このような厳しい環境下において、当JAでは、今後を見据えた新たな指針「中期3カ年計画」の初年度として、本計画のもと組合員・生産者が安心して営農を継続できるよう、生産性向上に向けた技術指導の強化や出荷経費にかかるコスト低減対策を加速させるとともに、各事業部で掲げた目標達成に向け、役職員が一丸となって組織力の結集をはかりました。

営農販売事業

営農販売事業は、凍霜害が少ない順調なスタートに期待が寄せられました。しかし、局地的な降ひょう被害や生育期の高温・干ばつが農作物の品質や収穫量に影響し、ももを中心に多くの品目で出荷数量が減少しました。このなか、JAでは、降ひょう被害果の区分選果や市場連携による販路の確保、被災した生産者に向けた農業開発事業による支援、また、高温・干ばつ対策技術の普及や、気候変動に対応した補助事業の活用促進などに取り組みました。

〈受託販売品販売高〉

単位：千円

種類	4年度	5年度	6年度	7年度
果 樹	3,130,302	3,271,422	3,687,019	3,190,588
菌 茸	511,089	443,809	492,322	504,081
野 菜	268,711	292,229	324,837	305,307
花	105,836	106,393	105,801	93,216
農 畜 産	271,378	290,993	326,231	492,780
直 販	1,198,314	1,275,453	1,294,649	1,256,462
合 計	5,485,630	5,680,299	6,230,859	5,842,434

(注)当期取扱高は総額で記載しており、損益計算書においては純額で販売手数料として表示しています。

購買事業

○生産購買事業は「予約購買」「店舗販売」を事業の柱に「年間特別予約」への「重点品目」設定と積極的な推進を行うとともに、生産資材専任営業担当者を設置して出向く活動をすすめました。また、生産資材店舗の利用拡大に向け、県統一セール、独自セールを行い、生産者の資材コストの低減に取り組みました。

○農業機械事業は、「ほくしんJA農機フェア」、JA独自「農業機械総合展示会」や「在庫決算セール」、センター独自の展示相談会を開催し生産者ニーズに即した機械の更新提案や新型機器のアピールを行いました。しかし、各メーカーの度重なる値上げ等による買い控えもあり、計画をやや下回りました。

○生活購買事業は、重点推進項目を設け、新茶や年末商品の販売、住宅のリフォーム工事、白蟻防除の提案に取り組みました。

〈買取購買品取扱実績〉

単位：千円

	種類	4年度	5年度	6年度	7年度
生産購買品	肥 料	256,907	264,057	241,240	245,193
	農 薬	362,360	387,888	440,606	397,515
	飼 料	31,212	35,262	34,571	28,071
	農 業 機 械	500,434	509,995	551,237	528,127
	施 設 資 材	440,740	411,656	444,161	428,176
	合 計	1,591,655	1,608,859	1,711,818	1,627,084
生活購買品	食 品	185,355	168,420	87,330	59,515
	生 活 用 品	77,304	91,333	75,669	78,678
	燃 料	2,847,753	2,866,186	2,898,915	2,692,568
	そ の 他	7,722	8,763	6,289	6,024
	合 計	3,118,135	3,134,703	3,068,205	2,836,786

(注)当期供給高は総額で記載しており、損益計算書における金額は一致しません。

金融事業

○貯金は「年金プレミアム定期貯金」「みのりプラス定期貯金」などの貯金商品や年金振込指定、ネットバンク、投資信託を重点推進項目に掲げ、金融営業担当者や支所窓口を通じ積極的な提案推進に取り組みました。個人貯金は前年比減となりましたが、個人資産(個人貯金+投資信託+国債)としては前年比増となりました。

単位:千円

○貸出金は、金利競争の激化など厳しい環境が続きましたが、ローンセンター(サテライトプラザ南長野)の専任営業担当者を中心に業者・利用者への積極的なJA住宅ローン推進を行いました。また、農業経営拡大をめざす組合員・利用者の融資相談に取り組みました。

区分	4年度	5年度	6年度	7年度
貯金	210,456,978	220,667,354	203,010,977	209,472,807
預金	153,263,653	155,762,008	132,896,867	134,974,679
貸出金	44,406,219	50,890,386	56,973,118	60,938,583
有価証券	8,306,710	9,741,368	9,202,527	8,963,323
国債	1,096,500	1,070,160	988,350	1,273,860
その他	7,210,210	8,671,208	8,214,177	7,689,463

共済事業

共済事業は、長期共済保有高と長期安定的な事業基盤の確保に向け、新規契約を対象とした長期基盤目標4項目と自動車共済を重点項目に、ライフアドバイザー(共済専任普及担当者)・スマイルサポーター(支所窓口担当者)を中心に提案活動につとめるとともに、全契約者への「3Q活動」を展開しました。

長期基盤合計ポイント目標については、297万ポイント(計画比98.3%)と課題が残る結果となりましたが、推進総合ポイントは、1,002万ポイント(計画比101.4%)を確保しました。

単位:千円

また、早期の共済金のお支払いにつとめ、事故共済金支払総額は20億9,890万円と、疾病や事故等からの再生にお役立ていただきました。

長期共済保有高	4年度	5年度	6年度	7年度
生命	203,905,317	189,018,701	175,427,988	163,459,934
建物	345,960,853	340,433,578	333,919,496	328,893,493
合計	549,866,172	529,452,279	509,347,486	492,353,429

組合員活動、健康・福祉活動

○JA祭は今年度、感染症拡大前と同規模まで戻し、全4拠点で行い、組合員や地域住民との直接交流により絆を深めました。

○健康・福祉活動は、JA長野厚生連病院と連携しながら「グリーンカフェ」等を行い、組合員の「健康維持・増進」につなげました。

労務管理・経営管理

○階層別コンプライアンス研修を通じ、コンプライアンスへの意識を高めるとともに、不祥事未然防止と内部管理態勢の強化ならびに継続的なコンプライアンスの維持・管理に取り組みました。

○「JA営農・経済事業の成長・効率化プログラム」の最終年度として、計画した内容の達成状況ならびに課題についてとりまとめを行い、次期のプログラムに向け、課題の対応と改善等に検討をすすめました。

○内部監査では、有効かつ効率的な監査を行うため、リスクの高い業務に的を絞ったリスクアプローチ手法による監査に取り組みました。外部監査では、みのり監査法人による監査を受監したほか、長野県による常例検査を受検しました。

事業全般

単位:千円

各事業とも総力をあげ、計画に基づく事業をすすめた結果、事業利益は1億2,946万円、経常利益で4億2,437万円、当期剰余金は、3億4,516万円となりました。また、事業の健全性の指標となる自己資本比率(剰余金処分後)は、18.35%となりました。

区分	4年度	5年度	6年度	7年度
事業利益	178,752	123,564	191,923	129,463
経常利益	476,416	428,923	389,767	424,379
当期剰余金	309,668	310,587	281,763	345,162
総資産	228,726,668	239,089,685	221,908,380	227,969,260

貸借対照表(組合の財産状況)

単位:千円

科目	金額	科目	金額
信用事業資産	206,323,888	信用事業負債	211,389,347
共済事業資産	53,261	共済事業負債	986,068
経済事業資産	1,223,730	経済事業負債	604,256
雑資産	986,656	雑負債	641,098
固定資産	7,519,914	諸引当金	1,374,643
外部出資	11,457,378	負債の部合計	214,995,413
繰延税金資産	404,430	組合員資本	14,816,014
		評価・換算差額等	△ 1,842,167
		純資産合計	12,973,846
資産合計	227,969,260	負債及び純資産合計	227,969,260

※千円以下切り捨てのため、小計および合計の金額は一致しない場合があります。

損益計算書(組合の経営成果)

単位:千円

科目	金額
事業総利益	3,398,016
信用事業総利益	1,416,344
共済事業総利益	814,490
購買事業総利益	672,599
販売事業総利益	178,978
保管事業総利益	58
加工事業総利益	20,135
利用事業総利益	288,905
宅地等供給事業総利益	25,524
有線放送事業総損失	727
指導事業収支差額	△ 18,294
事業管理費	3,268,552
事業利益	129,463
事業外収益	444,932
事業外費用	150,016
経常利益	424,379
特別利益	9,276
特別損失	8,065
税引前当期利益	425,590
法人税等合計	80,427
当期剰余金	345,162
当期首繰越剰余金	924,112
農業開発積立金取崩	9,681
税効果調整積立金取崩	261
当期末処分剰余金	1,279,217

※千円以下切り捨てのため、小計および合計の金額は一致しない場合があります。

組合員数

単位:人

資格区分	加入	脱退	年度末
正組合員	個人	121	378
	農事組合		1
	その他	7	
准組合員	個人	491	278
	農業協同組合		2
	農事組合法人	1	
	その他団体	3	2
合計	623	661	20,265

剰余金処分

単位:円

当期末処分剰余金	1,279,217,749
----------	---------------

これを次のとおり処分します。

科目	金額
剰余金処分数額	403,445,231
(1)利益準備金	70,000,000
(2)任意積立金	210,686,369
農業開発積立金	9,681,110
地域農業振興対策積立金	100,000,000
リスク対策強化積立金	100,000,000
特別積立金	1,005,259
(3)出資配当金	45,481,486
(4)事業分量配当金	77,277,376
次期繰越剰余金	875,772,518

1. 出資配当は、年1.25%の割合です。

ただし、年度内の増資および新加入については日割り計算です。

2. 事業分量配当の基準は次のとおりです。

対象項目	配当率	配当金額	
購	生産資材利用	0.1%	686,074
	生産資材利用奨励	5.0%	26,693,463
	環境にやさしい農業推進対策	10.0%	2,607,989
	果樹生産振興対策	10.0%	1,129,243
	野菜花卉振興対策	10.0%	360,771
	灌漑・排水施設設置	10.0%	442,589
	長期貯蔵冷蔵庫設置	10.0%	185,818
	スマート農業振興対策	10.0%	507,819
	農業機械利用	0.1%	444,238
	販	共選共販	0.1%
A・コープ直売出荷		0.1%	749,378
J A直営直売所出荷		0.1%	90,095
インショップ出荷		0.05%	38,919
園芸出荷資材利用高		6.4%	13,851,396
売	青果物出荷利用高	0.8%	23,836,673
	新規融資	0.025%	1,874,790
合計	—	77,277,376	

【第2号議案】地域農業振興対策積立金目標額の増額について

地域農業のさらなる振興と力強い農業づくりを推進していくための将来的な事業展開への備えを一層充実させることを目的として「地域農業振興対策積立金の目標額」を、現行の2億円から5億円に増額することを承認いただきました。

【第3号議案】リスク対策強化積立金の目標額の増額について

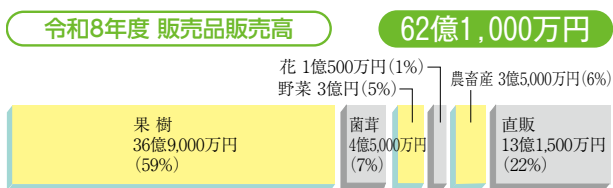
昨今の経済情勢、特に金利上昇局面における市場リスクの増大を鑑み、今後発生が想定される固定資産や有価証券の減損損失等に対し、万全を期すとともに、健全な経営基盤を維持するため、「リスク対策強化積立金の目標額」を現行の7億円から8億円に増額することを承認いただきました。

【第4号議案】令和8年度事業計画ならびに収支計画の設定について

令和8年度は中期3カ年計画の実践2年目として、7年度の目標達成状況を踏まえながら、各事業において農業振興戦略、組織基盤強化戦略、経営基盤強化戦略の実践を継続・強化し、「持続可能な農業の実現」「食と農を基軸とした協同組合の役割発揮」をめざしてまいります。

営農販売事業

- 農業所得増大(反収増加・品質向上)へ向けた営農指導、営農支援
- 気候変動や地球温暖化対策となる技術の研究や生産者への情報提供、技術導入提案
- 市場や顧客ニーズを踏まえた積極的な提案・商談による「グリーン長野ブランド売り場」の確保
- 共選品、直売所取扱品、規格外品の直接販売の拡大による生産者手取りの増大
- 「グリーン営農相談センター」を主体とした営農相談機能強化とこれによる担い手確保や農業経営課題の解消
- 青壮年部と一体となった担い手農業者の声の反映とJA運営への参加・参画
- 食農教育活動の展開による農業理解の促進



金融事業

- 農業者の持続可能な経営に向けた経営課題解決と成長支援に質する資金提案
- 地域に密着し、利用者によりそう金融窓口運営や渉外態勢強化による暮らしを支える渉外活動などJAバンクらしいライフプランサポートの実践
- 利用者別組織(年金友の会)の活動を通じた金融事業利用の促進

購買事業

生産購買・農業機械

- 予約購買(年間特別予約)の利用拡大による生産資材コストの削減
- 組合員ニーズを掘り下げた商品展開による、JAファーム店への集客向上と競合他社との差別化
- 農業機械の定期的な整備会や迅速な修理対応による生産者の農作業の安定・効率化支援

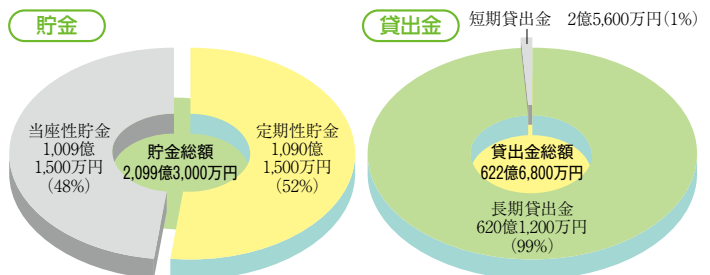
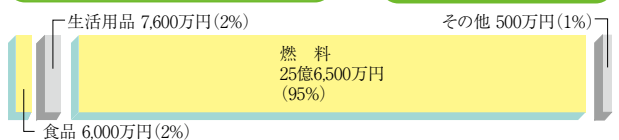
生活購買

- 生活重点品目と魅力ある商品提案・提供
- 燃料油供給量の確保と油外収益の拡大に向けたセルフ給油所の利用拡大と、広域給油所の効率営業体制の構築
- ENEOS石油、クミアイプロパンガス、JAでんきのセット販売によるホームエネルギーの充実化

令和8年度 生産購買品供給高 16億8,000万円

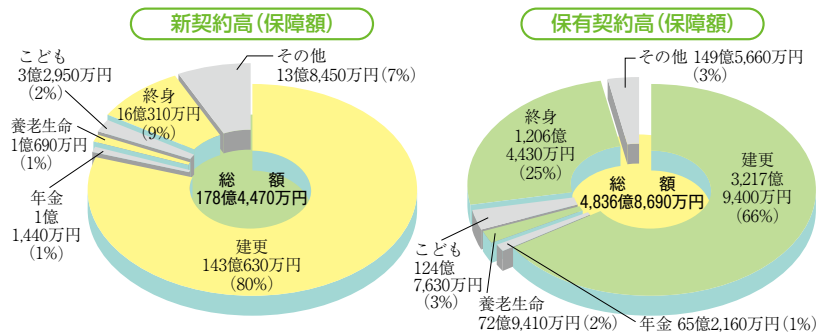


令和8年度 生活購買品供給高 27億6,000万円



共済事業

- LA・スマイルサポーターによる対話活動やお役立ち活動を通じた組合員・利用者との信頼関係構築と保障の拡充
- 組合員・利用者の利便性向上と手続きの簡略化に向けたデジタル技術の活用促進
- 有事の迅速な対応による安心の確保



組合員組織活動、広報活動、利用事業

- 組合員との関係構築・維持・強化をめざした、組合員参画会議や訪問活動の実践と、得られた組合員の声の共有、これによる課題解決
- 非対面(インターネット)等を通じたコミュニケーションの導入
- 「農業・地産地消・国消国産」の意義発信と、組合員加入を目的としたJA祭の開催と接点の確保

単位:千円

区分	金額
出 資 金	3,637,000
利 益 準 備 金	4,526,857
任 意 積 立 金	6,802,358

経営管理方針

- 協同組合らしい人づくりに向けた人事育成方針や各種制度の見直し・強化を通じた人材戦略
- 各事業の状況や将来像、組合員の要望や事業環境の変化に応じた経営資源の再分配による組織基盤の安定化
- JA執行体制の強化およびあり方の検討
- 法令等遵守に向けたリスク管理態勢の強化

単位:千円

区分	金額
事 業 利 益	50,000
経 常 利 益	362,000
当 期 剰 余 金	262,000

【第5号議案】

令和8年度賦課金の額、賦課の方法、徴収の時期および徴収方法の決定について

指導事業の経費にあたるため次の基準により、賦課、徴収させていただくことを承認いただきました。

賦課総額 13,400千円

賦課基準 正組合員割 2,000円

※ 1戸に複数正組合員がある場合は1人に対して賦課する。

徴収時期 令和8年10月

徴収方法 賦課金納付通知書を発行し、現金または貯金口座から振替徴収する。

【第7号議案】

宅地等供給事業実施規程の変更について

宅地等供給事業実施規程(以下「本規程」。)について、相続や婚姻、公共事業に伴う代替地の取得など、従来の実施地区以外の農地を保有する組合員の増加といった時代の変遷をふまえ、本規程における事業実施地区を拡大することで、組合員の多様な要望に対して当JAが窓口を一本化し、円滑に対応できる体制を整備するための規程の変更について承認をいただきました。

【第6号議案】

令和8年度における理事および監事の報酬決定について

令和8年度の理事および監事の報酬について、次の通りとすることを承認いただきました。

理事の報酬 総額5,700万円以内とし、その支払方法は理事会に一任する。

監事の報酬 総額1,750万円以内とし、その支払方法は監事に一任する。



総代会で議案を承認する出席総代

本誌面をもって総代会の開催報告ならびに資料内容の報告とさせていただきます。
総代会資料本冊をご希望の方は、支所・よりそい店までお問い合わせください。

JAグリーン長野自己改革工程表

JAグリーン長野は、平成28年度より、「人と人との絆 次世代につなぐ協同の輪」の理念のもと、組合員との徹底した対話に基づき、「農業所得の増大と地域社会への貢献」を基本とする「JA自己改革」の実践に全力で取り組んでまいりました。

令和7年度は中期3カ年計画の初年度としてJA自己改革サイクルの取り組みをすすめてまいりました。数値目標を含めた具体的な自己改革の内容を総代会で決定し、その実現に向けて着実に取り組んでおります。

令和8年度では、組合員との対話を踏まえ、農業所得の増大に向けて一層の期待がかかる取り組みを継続・強化するとともに、近年、経営を大きく圧迫する生産経費への対策に取り組むほか、JA経営基盤の強化や組合員との対話、意思反映の取り組みをすすめることで、自己改革のさらなる深化に取り組めます。

これからも、JAグリーン長野は、「組合員のためのJA」「地域になくてはならないJA」であり続けるため、持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との対話を徹底的に行いながら、総合事業を基本とした「不断の自己改革」に取り組んでまいります。

自己改革を実践するための具体的な方針【下線項目はKPI設定】

1. 訪問活動や懇談会、支援・相談会を通じ、「担い手との対話」を原点として、ニーズを的確に把握します。
2. 「農業所得の増加・コスト低減」に担い手目線で取り組みます。

目標および実践具体策等の策定とあわせて実践し、改革の目的である「所得の増大」を実現するほか、農業やJAの持つ「総合事業」を通じ、「地域活性化」にも取り組みます。

 - ◇担い手経営体や中核的担い手などを対象として、次のことに取り組みます。
 - ア. グリーン長野ブランド「糖度保障品」の区分選果・販売強化による果実単価の向上
 - イ. 果実の長期販売の推進による単価向上
 - ◇中核的担い手や多様な担い手などを対象として、次のことに取り組みます。
 - ア. 共選品の直販比率の向上と経費削減による手取りの向上
 - イ. 直売運営による多様な担い手の販路拡大
 - ◇必要とするすべての者を対象として、次のことに取り組みます。
 - ア. 年間特別予約重点品目の設定による生産コストの削減
 - イ. 年間特別予約のDX化検討によるコスト削減
 - ◇新規就農希望者・担い手候補者・潜在的農業者に向けて、次のことに取り組みます。
 - ア. グリーン営農相談センターによる就農・営農継続のトータルサポート
 - ◇「地域活性化」に向け、次のことに取り組みます。
 - ア. 農業振興応援団・「国消国産」応援団の拡大
 - イ. 拠点協同活動による地域との連携強化
3. 改革の取り組みと成果について、対話等を通じて評価を把握し、次の改革につなげることで、PDCAサイクルを回し、不断の自己改革を着実に実践します。

自己改革の実践に向けて組合員の意思反映

JA自己改革の実践にあたっては、改革の評価の把握に向けた正組合員との対話や懇談会に加え、「正組合員とともに、地域農業や地域経済の発展を支える組合員」である准組合員の声も聴くことで、正・准組合員が一体となったJA運営を実現します。

また、農業振興の応援団でもある准組合員の事業利用にあたっては、正・准組合員の利用状況を把握したうえで、「国消国産」への理解醸成もはかりながら、改革の目的である「農業者の所得増大」につながるよう、取り組みます。

自己改革を支える経営基盤の確立・強化の取り組みについて【下線項目はKPI設定】

当JA管内の人口は減少傾向にあり、少子高齢化が進展しています。特に組合員の高齢化がすすみ、JA利用者の減少が懸念されます。

こうした情勢のなか、当JAの現状の施策のままですすめた場合の5年後の成行きについてシミュレーションを行ったところ、赤字となる見通しとなりました。これは、農業生産者の減少による販売・購買事業利用量減少や、営農関連事業を補完する信用・共済事業の競争激化や収益性の低下、人件費の高騰等を理由とした事業管理費の増加、遊休資産の不採算性の増加が原因です。

当JAでは、これらの課題に対し、健全で持続性のある経営を確保するため、経営基盤強化に取り組めます。

- ◇農業関連施設の最適化に向けて、次のことに取り組みます。
 - ア. 運営最適化に向けた拠点再編
 - イ. 流通センター・共選施設の将来像の確定
- ◇経営資源の最適化に向けて、次のことに取り組みます。
 - ア. ファシリティ・マネジメントによる遊休・固定資産の最適化
 - イ. DX化の推進による事業管理費の削減

JAグリーン長野自己改革工程表(数値編)

重点目標

成果指標・目標値

農業者の所得増大・農業生産の拡大

グリーン長野ブランド「糖度保証品」の
区分選果・販売強化による果実単価の向上対象者:担い手経営体や中核的担い手など 想定 売上増加効果

令和9年度	輝々桃	前3カ年度+45円向上	もも・りんご 全出荷量10kgあたり 6円~128円増加
	赤秀プレミアム	前3カ年度+15円向上	

年度目標	令和7年度		令和8年度	令和9年度
	計画	実績	計画	計画
輝々桃 kg単価	前3カ年 +15円向上	前3カ年 +60円向上	前年 +15円向上	前年 +15円向上
赤秀プレミアム kg単価	前3カ年 +5円向上	前3カ年 +35円向上	前年 +5円向上	前年 +5円向上

共選品の直販比率の向上と
経費削減による手取りの向上対象者:中核的担い手や多様な担い手など 想定 売上増加効果

令和9年度	前3カ年度+5%増加	1kgあたり5円増加
-------	------------	------------

年度目標	令和7年度		令和8年度	令和9年度
	計画	実績	計画	計画
直販比率	前3カ年 +2%増加	前3カ年 +0.7%増加	前3カ年 +4%増加	前3カ年 +5%増加

年間特別予約重点品目の
設定による生産コストの削減対象者:必要とするすべての者 想定 コスト低減効果

令和9年度	予約当用価格差 1%	1品目あたり10~660円減少
-------	------------	-----------------

年度目標	令和7年度		令和8年度	令和9年度
	計画	実績	計画	計画
予約当用 価格差	前年差 +0.3%	前3カ年 △0.27%	前年差 +0.3%	前年差 +0.4%

地域の活性化(准組合員のJA利用拡大)

農業振興応援団・「国消国産」応援団の拡大

令和9年度	令和6年度純増600人(総加入数1,162人)
-------	-------------------------

令和7年度実績	令和8年度計画	令和9年度計画
213人(493人)	219人(400人)	172人(362人)

経営基盤の確立・強化

運営最適化に向けた拠点再編

令和9年度	農業関連施設の機能集約
-------	-------------

令和7年度実績	令和8年度計画	令和9年度計画
信田種子センター 新設	果実流通センターの 機能整備	果実流通センターの 機能整備

ファシリティ・マネジメントによる遊休・固定資産の最適化

令和9年度	遊休資産簿価ならびに賃借料の10%削減
-------	---------------------

令和7年度実績	令和8年度計画	令和9年度計画
前年比2%削減	前年比3%削減	前年比4%削減

対話・意思反映

項目	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度計画
正組合員との訪問・対話(営農懇談会)	1,047人	1,037人	1,080人
地区懇談会(出席人数)	1,430人	1,379人	1,613人
准組合員懇談会(回数、出席人数)	1回、9人	1回、7人	1回、100人
農業経営実態調査(人数)	—	1,240人	—



本・支所総代会にお寄せいただいたご意見・ご質問へのJAの回答

本・支所総代会においていただきました「ご意見・ご質問」について、JAの回答をお伝えいたします。

第1号議案について

意 出資配当金について、年1.25%ということだが、JA全体の利益に対してどのくらいの割合なのか示したほうがいいのではないか。

答 出資配当金につきましては、組合員みなさまの出資に基づき、総代会の議決を経て、その事業年度で生じた剰余金の中から配当させていただいております。今年度の当期末処分剰余金は12億7,921万円を計上しており、出資配当金(4,548万円)は、その剰余金のなかから配当であり、未処分剰余金に対する出資配当金の構成比率は、3.55%となっております。

なお、当JAの利益配分は、出資に対する配当のほか、JA事業のご利用高に応じた事業分量配当や、将来の事業基盤強化のための積立金など、JA運営と地域農業の発展のために総合的に活用させていただいております。

質 事業分量配当について、なぜ今年は減らしたのか。

答 令和6年度に設けました「農業経営危機対策・資材高騰対策」につきましては、当時の深刻な資材高騰に対応するための時限的な措置として実施いたしました。令和7年度の配当方針につきましては、組合員のみなさまへの還元と、将来の経営安定化に向けた備えのバランスを総合的に判断いたしました。具体的には、より多くの組合員のみなさまにメリットを感じていただけるよう、出資配当率を従来の1.0%から1.25%へ引き上げております。出資配当と事業分量配当の合計額が前年度より減少している点につきましては、ご指摘の通りです。これは、当期利益から将来の不測の事態に備えた「地域農業振興対策積立金」・「リスク対策強化積立金」を増額し、JAの経営基盤をより強固なものにすることを優先したためです。不透明な経済情勢においても、組合員のみなさまの営農と生活を長期的に支え続けるための措置ですので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後につきましても、組合員のみなさまの農業経営環境や経済情勢を注視し、配当や積立のあり方について検討してまいります。

第2・3号議案について

質 第2・3号議案は、どのような形で有効活用していくのか、具体策を示してほしい。

答 目的積立金は現時点で個別の具体的な支出先を確定させているものではなく、将来的な農業経営を取り巻く環境の変化や不測の事態に備え、あらかじめ財政的な余力を蓄えておくことで、JAの経営基盤を強固にすることを目的としております。

地域農業振興対策積立金は、将来的な農業施設等の老朽化に伴う大規模な修繕や、地域農業のニーズ変化に応じた新たな施設整備、あるいは農業経営環境の変化に伴う機動的な支援が必要となった際に、迅速に対応するための財源として活用いたします。

一方、リスク対策強化積立金は、市場環境の変動や金利上昇局面などを踏まえ、有価証券の価値変動や保有資産の損害といった不測の事態が生じた際に、当JAの経営健全性を損なうことなく、安定的な事業運営を継続するための防波堤として機能させるものです。

先行きが不透明な時代だからこそ、あらかじめ十分な積立の枠を確保しておくことが、組合員のみなさまに将来にわたって安心して事業をご利用いただくための信頼の基盤になると考えております。何卒、本議案の趣旨をご理解いただき、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。

第4号議案について

質 中東情勢が不安定の中、燃料費・肥料・農業資材等の高騰が予想されることを、今年度の事業計画に見込んでいるのか？また、農家支援等について何か対策を考えているのか？

答 事業計画策定の時点では、現在の中東情勢の影響を詳細に見込むことは困難な状況でした。しかしながら、資源不足等による肥料や農業などの資材価格の上昇につきましては、組合員の経営を圧迫する大きな課題であると強く認識しております。

今後の対応策につきましては、まずは情勢の動向を迅速かつ的確に把握することにつとめてまいります。また、当JA単独での対応には限界もありますので、全農長野やメーカー、各販売市場等と緊密に連携し、コスト抑制や効率的な資材提供など、組合員のみなさまが安心して農業を継続できるような支援策を講じてまいり所存です。あわせて、こうした資材価格の動向や、農家支援に関する情報がございましたら、当JA広報誌やホームページ等を通じて、ご案内してまいります。

今後も組合員のみなさまの営農を守ることを最優先に、状況に応じた柔軟な対応を検討してまいりますので、何卒ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

JAグリーン長野A・コープ直売会が定期総会を開催



JAグリーン長野A・コープ直売会は4月27日、グリーンパレスで定期総会を開催しました。当日は会員約200人と長野県A・コープの関係者が一堂に会し、活動方針の確認を行いました。今回の総会では、会員が丹精込めて育てた農産物をより多くのお客様へ届けるため、スローガンの共有をはじめ、規約や出荷規格の再確認などが議論されました。提供する農産物の「安全・安心・新鮮・おいしい」という強みはもちろんのこと、今後は品質や品揃えのさらなる向上を目指していく方針です。冒頭のあいさつで山本国広運営委員長は、厳しい現状について触れ、「気象変動に伴う農作物への被害や、生産資材の高騰といった逆風がある中ではあるものの、だからこそ『出荷基準とルールの徹底』が不可欠だ」と強調しました。また「一つひとつの積み重ねがお客さまからの厚い信頼へとつながる」と訴え、県内30店舗あるA・コープ直売所の中で販売金額1位を獲得するという高い目標を掲げました。会員一同、力を合わせて品質向上に取り組み、お客さまに選ばれる直売所づくりを推進していく決意を新たにす場となりました。



あいさつをする山本運営委員長

白ネギの産地力向上へ 初の栽培情報交換会を開催



野菜部会葉野菜専門部は、管内の白ネギ生産者の技術向上と連携強化を目的に、新たに栽培情報交換会を立ち上げました。初回会合には生産者8人のほか、種苗メーカーや長野農業農村支援センターの普及指導員も参加しました。会合ではネギの生態に基づいた栽培管理の基本や最適品種の選定について講習が行われ、生産者間では肥料や栽培方法、異常気象へのリスク回避策など実践的な知見が共有されました。本会は課題を共有し、産地全体の技術底上げを図ることを目的としており、今後は2～3ヵ月に一度のペースで継続開催を予定しています。定期的なほ場視察やノウハウの共有を通じて、白ネギの出荷量拡大と品質向上を推進していく方針です。



あいさつをする松木葉野菜専門部長

親子で学ぶ農業体験 「親子ふれあい農業塾」が開講



JAと長野県更級農業高校は5月9日、親子で農業を体験する「親子ふれあい農業塾」を開講しました。この取り組みは、作物を育てる過程や喜びを通じ、地元の農業を身近に感じてもらうことが目的です。今年度は10組の親子が参加し、初回は篠ノ井東福寺の畑で開講式が行われました。その後、畝立てを行い、ジャガイモ、エダマメ、サツマイモの種まきや植え付けに挑戦しました。作業では高校生が講師として丁寧にサポートし、参加者はスムーズに作業を終えることができました。保護者からは、「子どもたちが楽しんでいて良かった」「今後も自宅での栽培へつなげたい」という前向きな声が聞かれました。



講師とジャガイモを植える親子ら

高品質なピーマン作りを目指して



ピーマンの定植を行うセミナー参加者

JAは5月13日、松代町で第2回ピーマンセミナーを開催しました。生産者の技術向上と安定収穫が目的です。前半は長野農業農村支援センター職員が生育前半の管理の講義を行い、後半は営農技術員が定植の実演と病害虫対策を解説しました。定植後の地温の管理や初期育成促進のため、被覆資材を利用し、品質向上と収穫量アップを目指します。参加者は定植前後作業の大切さや、ピーマン生育へ理解を深め、本格的な栽培に向け意欲を高めました。

シャクヤクの出荷シーズン到来、品質維持へ目揃会を開催



花き部会シャクヤク専門部は5月7日、篠ノ井の東部青果物流通センターと若穂野菜花き集荷所の2会場で出荷目揃会を開催しました。1月から3月の雨不足で生育が遅れていましたが、4月以降の天候回復で現在は前進しています。今後の気温次第で開花が加速するため、生産者には適切な収穫時期の判断を求めました。また、母の日に向け、市場の要望を踏まえた出荷規格や品質管理を再確認しました。特に長さや蕾の基準、丁寧な荷造りの徹底を呼びかけました。高品質なシャクヤクを安定供給することで、産地の評価維持と所得向上を目指します。



シャクヤク切り前について説明する営農技術員

病害対策と適切な摘果で品質向上へ



摘果の注意点を説明する営農技術員

JAは5月11日から13日、管内22カ所で「もも・ネクタリン講習会」を開催しました。川中島白桃の満開日は4月12日頃と昨年より8日早いものの、結実は概ね良好です。講習では、果実肥大を促す早めの予備摘果と、着果量・着果位置の調整が指導されました。また、せん孔細菌病や灰星病等の防除には、薬剤だけでなく積極的なほ場点検が必要だと呼びかけました。当日は営農技術員が実演を行い、具体的な作業手順を共有しました。

JA穀物部会総会 収量確保と経営安定へ



JA穀物部会は5月19日、篠ノ井のグリーンパレスで総会を開きました。部会員13人が出席し昨年度を振り返りました。水稻は高温障害による品質低下、大豆は猛暑と干ばつで大幅な減収に見舞われた一方、小麦は雑草対策の奏功で収量が増加しました。部会では課題解決に向けた勉強会を実施し、技術向上を図りました。令和8年度は、これまでの課題を教訓に部会活動を一層強化するとともに、経営所得安定対策を活用した需要に応じた品種選定や、栽培技術の改善に努め、生産者の所得向上を目指します。



あいさつをする小林常務

作業時間の大幅短縮を目指して



JAは5月7日、信田地区の丸山孝人さんの水田で、JA全農長野や農薬メーカーと協力してリゾゲア® XL(苗立ち安定化や病害虫防除のコーティングした種子)を使用した湛水直播(たんすいちょく)による田植えを行いました。湛水直播とは、苗箱で育てた苗を使わずに、水田へ直接種をまく栽培方法です。この手法は、苗作りの工程を省くことで作業時間を大幅に短縮でき、低コスト化や省力化につながるという利点があります。また、短時間で広範囲に種をまくことができるため、経営面積の拡大を目指す方法のひとつとして注目されています。



湛水直播による田植え

生産技術の向上とコスト低減を目指して



青壮年部篠ノ井東支部は5月15日、試験ほ場でももの摘果作業を行いました。盟友や営農技術員ら18人が参加し、「なつっこ」「スイートリッチ(ワッサー)」「幸茜」「まどか」など4品種の特性に合わせた作業手順を確認しました。今回はももの新規生産者3人が参加をし、実際に作業を行いながら詳しい説明や摘果作業の大切さを学びました。盟友は、「ほ場で作業をしながら情報交換や交流ができてとても良い環境です」と話しました。



摘果作業を行う盟友

花でつなぐ地域の絆



花壇の植え替えをする参加者



女性部松代支部は5月23日、JA長野厚生連長野松代総合病院の中院で「花の植え替え」を行いました。この活動は地域貢献の一環として、病院ボランティアのあんずの会と協力し年2回実施しています。当日は部員8人が参加し、事前に作成された設計図をもとに「ベコニア」や「インパチェンス」、「千日紅」など約200株を丁寧に植え付けました。参加者は、きれいに植えた花で少しでも心が和むことを願い花壇を完成させました。

好きな花で初夏を彩る寄せ植え



管内在住の女性を対象にした女性カレッジは5月20日・25日、JAファーム篠ノ井店で寄せ植え講習会を開きました。講師には蓼科高原バラクライングリッシュガーデンケイ山田ガーデンスクールマイスターを招き、「初夏を彩る寄せ植えづくり」をテーマに寄せ植えの楽しみ方を学びました。受講生は店頭で好きな花苗を選び、講師が花や葉の色、高さなどの組み合わせや、蔓の流れを活かすなどアドバイス。できあがった寄せ植えを、受講生自身がこだわったポイントなどととも披露しました。披露された作品を見た受講生は、「色づかいがステキ」、「植物の組み合わせが参考になる」など感想を寄せあいました。



講師(左2人目)のアドバイスのもと作業する受講生



グリーンコネクト先のJA情報をお届けします

大阪 第9期農業塾第3回講座を開催！

JAグリーン大阪では、4月28日(火)、第9期農業塾第3回講座を行いました。農業塾は、農産物直売所「フレッシュ・クラブ」や支店朝市への出荷を目指す新規就農者・定年帰農者・農業後継予定者を対象に、野菜づくりを基礎から学習することを目的としています。今回はまず、心耕塾(敷地内の東屋)にて、営農渉外を講師として、「夏野菜(果菜類)の基礎技術」について座学で学びました。その後、「夏野菜(果菜類)の定植作業」として、ナスやミニトマト、トウモロコシといった夏野菜の苗植えを行いました。今期の受講生は8名。9月まで残り4回の講座を予定しています。グリーン大阪では、農業塾により、さらなる都市農業の活性化に努めていきます。



アグリゾーンでの実習の様子

熱中症予防について

～高齢者のための熱中症予防～

JA 長野厚生連 長野松代総合病院
健康管理部 保健師



令和6年5月から9月の熱中症による救急搬送者数は全国で97,578人でした。このうち半数以上が65歳以上の高齢者で、発生場所の約4割が住居内でした。季節の変わり目や今後の気温上昇に伴い、熱中症のリスクが高まります。これからの時期を健やかに過ごすために、熱中症予防のポイントを確認していきましょう。

高齢者が熱中症になりやすい理由

暑さを感じにくい

年齢を重ねると皮膚の温度センサーが鈍り、暑いと感じるまでに時間がかかる。

汗が出にくい

若い人に比べて発汗量が減少し、汗をかくまでに時間がかかる。

水分が少ない

体内の水分量が若い人の約50%～65%まで減少し、脱水状態になりやすい。

心臓に負担

体温を下げようと血流を増やすため、循環器系に大きな負担がかかる。

熱中症の予防

予防の基本 ①暑さを避ける ②水分補給 *休憩も大切、無理をしない

室内対策

- ①室温チェック(28℃目安)
部屋に温湿度計を設置し、毎日室温をチェック
- ②エアコン使用
室内を28℃前後に保つ
- ③カーテンで日差しを遮断
直射日光を遮る
- ④換気も忘れずに
エアコンと併用し、こまめに換気

水分補給のコツ

- ①こまめな水分補給
1回約200ml
起床後、毎食時、10時、15時、入浴前後、就寝時
- ②1日2～2.5ℓ目安
食事で1ℓ、飲み物で1～1.5ℓ
医師の指示がある方は従う
- ③特に必要な時
起床後、入浴前後(必ず補給)

外出時の注意

- ①日傘・帽子
日傘・帽子を必ず持参
薄手で通気性のよい服を選ぶ
首元を冷やすタオルなども効果的
- ②日陰で休憩
日陰を選んで歩く
15分ごとにこまめに休憩を取る
- ③暑い時間を避ける
10時～16時は避ける
外出は午前中・夕方に

熱中症かな?と思ったら

症状チェック

- ・めまい
- ・頭痛
- ・高体温
- ・意識障害



応急手当

- ①涼しい場所へ
- ②衣服をゆるめる
- ③水分補給
- ④様子を見る(回復するかどうか確認)



回復した場合

- ・安静にして30分程度様子を見る
- ・継続的に水分補給



回復しない場合

意識障害、水が飲めない、ぐったり **すぐに119番!!**

実践チェック～熱中症予防のための5つの確認項目～

- 温湿度計を設置し毎日見る 部屋の温度・湿度をこまめに確認
- エアコンの設定とフィルター清掃 適切な温度設定と定期的な清掃
- 水分・経口補水液を常備 飲み物を常に用意しておく
- 日傘・帽子・涼しい服の準備 外出時の暑さ対策アイテム
- 家族・近所の見守り連絡先を確認 緊急時の連絡先を確認しておく



まとめ

熱中症は事前の準備と対策で十分に防ぐことができます。決して無理をせず、周囲の人とも声を掛け合いながら元気に夏を乗り切りましょう。

グリーンカフェ川中島 ぜひお越しください!



JAでは、65歳以上の組合員・地域のみなさまの介護予防、健康長寿をめざし、「グリーンカフェ」を川中島地区で開催しております。

ぜひお誘いあわせてご参加ください。

お問い合わせ 経済部くらしの支援課 TEL293-2061

【6月・7月の開講予定】

開催日時 ① 6月16日(火) AM10:00～

② 7月21日(火) AM10:00～

会場 JA川中島支所併設 コミュニティプラザ川中島

内容(講師) ①暑さに負けない食事(南長野医療センター篠ノ井総合病院)

②認知症予防(長野松代総合病院)

参加費 100円

果樹塾
2026

お問い合わせ
営農販売部
tel.292-0930

今月号の「果樹塾」では、果樹栽培に必要な「農薬」について、安全使用のポイントをお伝えします。果樹栽培に限らず、野菜や水稲、花きなどで農薬を使用される方も、次の点をおさえながら使用し、収穫量や品質の安定化につなげましょう。なお、農薬散布時は、防護服、マスク、手袋の着用など、身を守る適正な服装で行いましょう。

大前提 農薬ラベルの記載内容を守る

農薬を効果的に使うためには、「農薬ラベルの記載内容」を守ることが大前提です。適用のない作物への使用や、使用量・希釈倍数を超えた使用はできません。これら「適用外使用」は、農薬取締法違反にあたります。適用外使用をすると、農作物の出荷販売ができなくなるほか、健康被害の恐れもあります。使い慣れている薬剤であっても、毎回必ず農薬ラベルの記載内容を確認してから使用しましょう。

【適用表（ラベル）の見方】

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用濃度	使用時期	総使用回数
きゅうり	アブラムシ類	1000	100~300ℓ/10a	前日	5回以内
かんきつ	カメムシ類	1000	200~700ℓ/10a	7日	本剤：3回以内 有効成分：4回以内

使用できる作物 効果のある病害虫 希釈倍数と散布量 使用時期(収穫までに使用できるタイミング)

- 一年生作物は種まきから収穫終了までの使用回数
- 永年性作物は収穫終了から次の収穫までの使用回数

効果的な使用ポイント① 適用病害虫を確認する

農薬を効果的に使用するためには、その農薬の「適用病害虫」を確認することが大切です。対象外の病害虫には、十分な効果が期待できません。また、適用の記載があっても、効果に差が出ることもあります。ほか、薬害の原因になる場合もあります。JAの「施肥防除の手引き」では、主な対象(病害虫)も記載していますので、確認して使用しましょう。

水100ℓ相当量	収獲前日数	10a当り散布量(ℓ)	主な病害虫
350	10a	350	カイガラムシ類、ハダニ、シンクイムシ類
350	10a	350	ハダニ、ナシマルカイガラムシ類、シロカビ病、うどんこ病

※1 1回目目防除がもっとも重要です。必ず実施し、早期治療・予防の徹底をする。もっとも重要

効果的な使用ポイント② 希釈倍数を守る

農薬は、ラベルに示された希釈倍数で使うことで、期待される効果を発揮できるように設計されています。薄めすぎると、有効成分の濃度が不足し、病害虫に十分に効かない場合があります。また、病原菌や害虫が生き残りやすくなり、耐性や抵抗性がついてしまう可能性があります。

一方、濃すぎると適用外使用が懸念されるほか、作物に薬害が出たり、周囲への影響も大きくなったりする恐れがあります。

『表示通りの濃度で使用することで十分な効果が得られること』を念頭に置いていただき、「濃くすれば(多く入れれば)効く」といった誤った考え方は避け、必ず表示通りに調整してください。

希釈倍数の<例>	水に対する薬剤の量		
	水10リットル	水5リットル	水1リットル
100倍	100ml (g)	50ml (g)	10ml (g)
500倍	20ml (g)	10ml (g)	2ml (g)
1000倍	10ml (g)	5ml (g)	1ml (g)
2000倍	5ml (g)	2.5ml (g)	0.5ml (g)

効果的な使用ポイント③ 適正な使用時期に使う

農薬は、病害虫が広がってから使うよりも、発生初期や予防段階で使用の方が効果的な場合があります。病害虫の発生予察を参考にして、必要なタイミングで使用しましょう。

例：●雨の前に散布すると病気の発生がおさえやすい

●害虫の発生初期に散布すると被害を小さくできる

ただし、散布直後に雨量が多かった場合には、農薬の効果が切れてしまうことがあります。農薬の種類によって耐雨性も異なるため、散布後の経過日数や雨量(降り方)を考慮し、「予防的な使用」と「治療的な使用」を分けて考えることが必要です。

なお、散布の時間帯も考慮が必要です。具体的には、できるだけ気温の低い早朝や夕方に散布をしましょう。日中の高温時に散布すると、葉の表面についた薬液の水分が蒸発してしまいます。また、高濃度の薬剤が残ることで、薬害が発生しやすくなります。

効果的な使用ポイント④ 散布ムラをなくす

薬剤が均一にかからないと、効果にばらつきが出て、防除効果が不安定になります。

葉の表面だけでなく、葉の裏、茎・枝など病害虫がつきやすい部分にも均一にかかるよう、丁寧に散布することが必要です。特に、散布機の調整不足や、風の強い日などはムラが出やすくなります。



お問い合わせ
 営農販売部
 tel.292-0930

今回は「うどんこ病」と「カメムシ類」についてお伝えします。
 いずれもこの時期に発生がありますので、作物を観察し、発病(発生)があった際には、早期に対応をお願いします。

うどんこ病

被害に遭いやすい品目	野菜…ウリ科(キュウリ、メロン、カボチャ、スイカ、オクラ、 トマト、イチゴ) 花き…キク、バラなど
------------	---

病 徴

うどんこ病に感染した作物の葉にはうどん粉を振りかけたような白色、粉状の胞子がみられ、光合成を阻害する。また、植物から栄養を吸収するため、生育不良や品質低下が起こり、ひどい場合には枯死することもある。

うどんこ病菌は非常に種類が多く、作物によって寄生する菌も違い、特異性が高い。そのため、異なる品目を隣接して栽培し、片方がうどんこ病に感染している場合でも、もう片方は感染しないことが多い。

発生時期

うどんこ病は盛夏を除き、春から秋に発生が多い。うどんこ病菌の好適温度は20～25℃であり、低～中温乾燥条件下での繁殖を好む。生きた植物のみに寄生(絶対寄生)し、栄養や水分を獲得するためであり、乾燥した環境には影響されにくい。

対 策

うどんこ病菌は風で運ばれ、感染が広がるため、発病した葉はすぐに取り除く。
 また、軟弱徒長を起こさないように、肥料を無駄に与えすぎない(窒素過多を避ける)。
 必要に応じてうどんこ病に効く薬剤を使用する。

カメムシ類

被害に遭いやすい品目	野菜…ナス科(ナス、ピーマン、トマトなど)、アブラナ科(キャベツ、ブロッコリーなど)、マメ科、ウリ科など 花き…キク、アスターなど
------------	--

病 徴

カメムシは針状の口先で新芽や茎葉の柔らかい部分、果実などを吸汁する。
 新芽や茎葉が被害に遭った場合、葉が縮んだり曲がったりするほか、穴があいてその周辺は褐色になることがある。被害が大きいと株全体が生育不良となる。

発生時期

4月から10月に発生する。特に、カメムシは高温(25℃～35℃)で増えやすく、夏は発育が加速する。また、乾燥した気候を好むため、梅雨明け以降から夏後半がピークとなる。

対 策

「耕種的防除」と「農薬による防除」を行う。
 耕種的防除では、周辺の草刈り等を行い、カメムシの生息場所を減らす。
 また、幼虫や成虫を見つけた場合は粘着シート等で捕殺する。
 農薬による防除では成分でネオニコチノイド系等の薬剤の効果が高い。 **ブチヒゲカメムシ**
 同一系統(同じ成分)の薬剤を続けて使用すると、耐性がつくため、農薬はローテーションしながら使用する。また、カメムシ類は移動範囲が広く、一度の防除だけでは防ぐことが難しいため、定期的な防除を行う。被害が大きくなる前に早めに防除を行う。



令和9年度出荷に向けて「量販店向けコギク」を栽培しませんか?～新規希望者向け説明会開催～

J Aでは、「量販店向けコギク」の新規栽培希望者を募集しています。コギクは、定年を機に農業を始める方や花栽培初心者の方にもはじめやすい品目です。需要も高く、収入安定化につながります。
 コギク栽培に興味をお持ちの方、検討される方を対象に説明会を開催します。ぜひご参加ください!

新規栽培検討者(希望者)向け説明会

日 時	6月27日(土) 午前9時～
会 場	篠ノ井東部青果物流通センター
内 容	コギク栽培オススメのポイント、ほ場案内など
備 考	・説明とほ場見学を行います。 ・お申込み制となります。お電話にてお申込みください。 お申込みがない場合、開催しないことがあります。



お申込み 営農販売部営農企画課 笠井(Tel.292-0930)

生産 資材

ファームカレッジにご参加ください

J Aファーム店では、家庭菜園を始める方や楽しむ方に向け、「ファームカレッジ」を開講します。ぜひご参加ください。

ファームカレッジ内容(予定)

講座名	内容	開催日	料金	時間・場所
野菜が病気になる前に。 家庭菜園の予防消毒	よく出る病害虫のこと、 農薬の紹介	6月18日(木)		10:00 JAファーム篠ノ井
				14:00 JAファーム松代
くわの柄入れ・刃の研ぎ方	刃を持参して講習	7月16日(木)	200円	10:00 JAファーム篠ノ井
				14:00 JAファーム松代
病気に負けない菜園づくり ～噴霧器の基本とメンテナンス～ 美味しい野菜を作ろう ～ゼロから学ぶ種まき～	噴霧器の基礎知識、商 品紹介、実演 種まきの基礎知識 暑さ対策、実演	8月20日(木)		10:00 JAファーム篠ノ井
				14:00 JAファーム松代
記念日にお花を贈ろう 寄せ植え講座	鉢植えのラッピング	9月17日(木)	培養土代 798円(税込み) +お花代	10:00 JAファーム篠ノ井
				14:00 JAファーム松代
たまねぎの栽培について (播種～収穫まで)	商品紹介			14:00 JAファーム松代

会場(時間)

JAファーム篠ノ井店会場
(10:00～)
JAファーム松代店会場
(14:00～)

備考

・前日までに事前にお申込みください。
・内容は予定であり、変更となる場合があります。内容
については本誌にて毎月ご案内していく予定です。

お問い合わせ・申込み

JAファーム篠ノ井店
TEL299-3311
JAファーム松代店
TEL290-6363

農業 機械

第26回 JA農機&資材フェスタ 開催

最新の農業機械の展示をはじめ、肥料や農薬、営農資材など、これからの農作業に役立つ商品を多数取り揃えております。専門スタッフによる製品説明や、導入に関するご相談も承っておりますので、ぜひこの機会にお気軽にお立ち寄りください。

日時: 令和8年7月17日(金) 時間: 9:00～16:00
令和8年7月18日(土) 時間: 9:00～14:30

場所: エムウェーブ 長野市オリンピック記念アリーナ



農業機械センター 土・日・祝日の営業日程

農業機械センターの土・日・祝日の営業日程は次の通りです。

お近くのセンターが休みの場合は他センターでも受付いたしますので、ご相談ください。

○…営業8:30～17:10
△…午前営業
(AM8:30～12:00)
―…休業

農業機械センター 連絡先	6月						7月						
	13	14	20	21	27	28	4	5	11	12	18	19	20
	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	月
篠ノ井 (TEL292-1369)	○	△	-	△	-	-	-	-	-	△	-	-	-
川中島 (TEL284-1671)	○	△	-	-	△	-	-	-	-	-	△	-	-
松代 (TEL278-8601)	△		-	-	-	△	-	-	-	-	-	△	-
更北 (TEL283-5043)	△	△	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	△
若穂 (TEL282-6025)	△	△	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-
信田 (TEL299-2225)	-	-	△	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-



JAの がん共済

誰もが“がん”になり得る時代だからこそ!

がんのこと 一緒に考えてみませんか?



がんは長期に渡って闘う病気になっています!

ポイント1 がんと診断されてからの5年後の生存率が増加傾向にあります!

1993~1996年 **53.2%** **10.9% 増加** 2009~2011年 **64.1%**

出典:公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計」(2024年版)

ポイント2 薬物治療(抗がん剤やホルモン剤)の発展による受療率は増加傾向にあります!

2012年の受療率をそれぞれ100%とした場合

抗がん剤 **129%** | ホルモン剤 **170%**

受療率が増加傾向にあります!

出典:株式会社IMCIC「がん治療最新動向」(2023年)

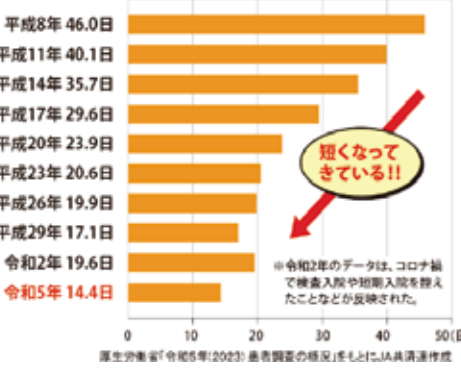
ポイント3 薬物治療(抗がん剤やホルモン剤)にかかる治療費は年々、増加傾向にあります!

薬価上昇等による薬物治療費の推移

抗がん剤	2018年 1,193,960円	2022年 1,794,340円
ホルモン剤	2018年 91,980円	2022年 105,940円

※ がん共済の保障範囲は、がんの種類により異なります。

がん退院患者の平均在院日数



がんの外来受療率、入院受療率の推移(人口10万人別)



がんの入院・通院にかかる平均日数・費用

がんの種類	平均入院日数	入院費用(窓口支払総額)
胃がん	14.7日	約26.8万円
肝臓がん	13.6日	約27.9万円
膵臓がん	14.9日	約28.5万円
直腸がん	15.9日	約33.1万円
乳がん	9.4日	約20.7万円
子宮がん	9.2日	約21.1万円

退院後の治療にかかる期間

胃がん 約1年
がん手術後の抗がん剤治療で4週間服用したあと2週間休むパターンを繰り返した場合

乳がん 約5~10年
がん手術後のホルモン剤治療を行った場合

厚生労働省「令和5年度患者調査」(令和5年度国民生活実態調査)より「がん」に関するデータに基づき作成。 ※ 通院後の退院日数については「日本臨床外科学会」および「がん研究振興財団」のデータを参照。

厚生労働省「令和5年(2023) 患者調査の概況」をもとにJA共済調べ

JAのがん共済が現代の治療に適應するため生まれ変わりました!

令和7年3月31日までの保障範囲

診断、手術、入院、放射線、先進医療

令和7年4月1日からは…

診断、手術、入院、放射線、先進医療、**NEW**薬物治療、**NEW**在宅医療、**NEW**掛金払込免除

がんは日常生活を送りながら、通院で治療する時代に変化しています。

安心1 がんの三大療法に加え、緩和ケアも保障!

入院・手術・放射線治療はもちろん、抗がん剤治療やホルモン剤治療・がん性疼痛等の緩和のための在宅治療も保障します。

安心2 所定のがん治療を受けた月ごとに、がん治療月額共済金を受け取れます!

入院日数にとらわれず、入院・通院・在宅治療にかかる経済的な負担を保障します。

安心3 オプションの保障で、ご意向に合わせた保障を自由に設計!

まとまった一時金の保障(がん診断共済金・がん治療一時金) ウィッグの購入費用や妊孕性の温存療法など、がん治療に伴うさまざまな自己負担となる費用にご活用いただけます。

がん診断以降の共済掛金の払込みを免除 がんによる収入減少時にも共済掛金の払込みを免除することで、安心して保障を継続することができます。

がん診断時共済掛金払込免除特則を付加していただくとがん診断以降の共済掛金の払い込みは不要になります。



[26164940299]

■ この共済において対象となる「がん」は、悪性新生物(上皮内新生物を含む)および脳腫瘍です。(「がん」保障のある共済種類共通) ■ がんに関する責任(保障)の開始は、ご契約日からその日を含めて91日目からとなります。これより前に被共済者が悪性新生物または脳腫瘍と診断確定された場合には、共済金はお支払いいたしません。また、がん診断時共済掛金払込免除特則が付加されている場合におけるがん診断による共済掛金の払込免除はありません。■ 所定の後遺障害等の状態による共済掛金の払込免除についてはご契約日から保障いたします。■ がん診断時共済掛金払込免除特則による共済掛金の払込免除については、ご契約日からその日を含めて91日目から責任(保障)を開始いたします。■ 入院および公的医療保険制度に基づく所定のがん治療を保障します。(月に1回を限度) ■ がん診断共済金は共済期間を通じて1回のみ支払われます。■ がん診断共済金または前回のがん治療一時金の支払事由に該当した日からその日を含めて1年を経過した日以後、所定のがん治療を受けた場合にお支払いします(1年に1回を限度)。

この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては、「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

お問い合わせは各支所・各センターへ





当JAで年金をお受け取りいただいている方にイベントのご案内です。年間を通じて様々なイベントを企画しておりますので、ぜひご参加ください。

JAグリーン長野 年金受給者の 皆さまへ

拝啓 平素はJAグリーン長野をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。
このたび、年金受給者の皆さまを対象に各種イベントを開催いたしますので、大勢の方のご参加をよろしくお願いたします。

敬具



1 ボウリング大会

- 開催日時 令和8年7月16日(木)
- 募集人数 先着60名
- 開催場所 アビナボウル長野野ノ井店 (現地集合、現地解散、お弁当付き)
- 料 金 2,000円
- 締 切 日 6月末



2 親睦マレットゴルフと温泉、お食事

- 開催日時 令和8年9月17日(木)
- 募集人数 先着70名
- 開催場所 上山田マレットゴルフ場
- 温 泉 上山田温泉
- 料 金 6,000円
- 締 切 日 8月末



3 伊香保温泉&水澤観世音 1泊2日

- 開催日 令和9年1月14日(木)・15日(金)
- 募集人数 先着80名
- 宿 泊 先 ホテル天坊
- 料 金 35,000円 (4名1室ご利用時お一人様料金/2名様1室+5,500円)
- 締 切 日 11月末
- 最低募集 35名以上

お問い合わせ・お申込み先

- | | | | |
|------------------------|-------------------------|------------------------|-----------------------|
| 篠ノ井支所 TEL:026-292-0146 | 篠ノ井東支所 TEL:026-292-1211 | 松代東店 TEL:026-278-2011 | 更北支所 TEL:026-284-3038 |
| 塩崎店 TEL:026-292-2206 | 信田支所 TEL:026-299-2211 | 寺尾店 TEL:026-278-2026 | 青木島店 TEL:026-284-2011 |
| 川柳店 TEL:026-292-0134 | 更府店 TEL:026-299-2221 | 中津支所 TEL:026-284-4407 | 真島店 TEL:026-284-2004 |
| 信里店 TEL:026-292-0217 | 大岡店 TEL:026-266-2231 | 御厨店 TEL:026-284-4052 | 若穂支所 TEL:026-282-2023 |
| 共和店 TEL:026-292-2081 | 松代支所 TEL:026-278-2601 | 川中島支所 TEL:026-284-4032 | 綿内店 TEL:026-282-3511 |



定期貯金「マルシェ」JA農産物直売所クーポン券が使える店舗一覧

店舗名	所在地
ななちゃんのお店	道の駅大森木交合
JAファーム入店さわやかグリーンセンター	島内地域農産物直売所
あぐりの湯こもろ地域特産物直売施設	島立農産物直売所
道の駅ヘーレテラス佐久間	新鮮市場まきよう
みどりのほろば軽井沢	農産物直売所の彩り館さくら
道の駅あさき	ファーマーズガーデンあかしな
上田市子ども産物直売センターあさひ	ファーマーズガーデンうちだ
うえだ食を館ゆりの里	ファーマーズガーデンまがた
新鮮市真田	ファーマーズガーデンやまべ
生産者直売施設いずみの里	JA洗川農産物直売所アピス
マルシェ黒塚	安曇野スイス村ハジの里
雷電ふるみの里	あづみ野ふる里市
A・コープ ファーマーズ佐久平店	農産物直売所えっこの里
A・コープ ファーマーズうえだ店	松川農産物直売所アプス一番
A・コープ コアしおだ店	A・コープ 白馬店
夢マーケット田中線	A・コープ ファーマーズおまち店
夢マーケット文出	A・コープ おみ店
ファーマーズあじいな	A・コープ きそ店
ファームテラスみのわ	松代農業総合センター農産物直売所
みほろしファームとれたて市場	信州中野いき館
およびてふぁーむ農産物直売所	農産物産総オンライン
松川インター直売所もろりん	ありもり農産物直売所
りんごの里農産物直売所	うまつり農産物直売所
A・コープ 原村店	お百SHOPおぶせ
A・コープ ファーマーズ富士見店	農産物直売所アグリながぬま
A・コープ ファーマーズアビナボウル店	農産物直売所和彩工場Vivid
A・コープ ファーマーズサンライフ店	農産物直売所千曲川
A・コープ 伊那中央店	A・コープ ファーマーズ松代店
A・コープ 妻すず店	A・コープ ファーマーズ藤ノ井店
A・コープ ファーマーズこまがね店	A・コープ ファーマーズ南長野店
A・コープ 七久保店	A・コープ ファーマーズ北長野店
A・コープ 富田店	A・コープ しんまち店
A・コープ カまつわく店	A・コープ あんず店
A・コープ ファーマーズたかぎ店	コープファーマーズびんくし店
A・コープ ファーマーズいいた店	A・コープ すこう店
A・コープ あいびんいいた店	A・コープ おゆき店
A・コープ ラックあち店	

JA農産物直売所クーポン券付き定期貯金「marché マルシェ」商品概要

200億円

●募集状況は各JA金融窓口にお問い合わせいただくか、ホームページをご確認ください。

取扱期間 令和8年6月1日(月)～令和8年9月30日(水)
※取扱期間中に募集総額に達した場合、達成日の翌々営業日をもって取扱を終了させていただきます。

販売対象・条件
●個人の方
●他の定期貯金商品からの預け替えはできません。
●JAネットバンク・ATMからのお預入れはできません。

貯金の種類 スーパー定期貯金

預入期間 1年間

預入金額 お一人につき10万円以上100万円以下

中途解約について この定期貯金は原則として満期前日に中途解約することはできません。

特典について 本定期貯金のお預入れ100万円ごとに、県内JA農産物直売所および(株)長野県A・コープ各店舗で使用できる500円分のクーポン券をおつけします。(※129万円お預入れの場合も、おつけするクーポン券は1,000円分です)

クーポン券使用可能店舗 クーポン券が使用できる店舗一覧は、クーポン券郵送時と同封する他、JA金融窓口への届き付けやホームページへ掲載いたします。また、使用可能店舗には、使用可能場所の表示をいたします。

クーポン券の使用期限 ●使用期限は令和8年12月末日までとし、それ以降はご使用いただけません。
●農産物の出荷状況等により、12月31日まで営業していない店舗もございます。お早めにご確認ください。

クーポン券の送付方法 ●貯金契約でお届けいただいたご契約者様のご住所へ郵送いたします。
●お客様のお手元へ届くまでに最大で1ヶ月程度かかります。

取扱期間 R8.6.1(月)～R8.9.30(水)

※募集総額200億円達成次第取扱終了

届てきた!

マルシェ
marché

JA農産物直売所クーポン券付き定期貯金

通常の店頭表示金利プラス

500円分
クーポン券
10万円ごとに進呈

有効期限:令和8年12月末日

長野県JAバンク

6月1日より取扱開始の定期貯金「マルシェ」は、10万円ごとに500円分のクーポン券をプレゼントさせていただいております。クーポン券は上記店舗でお使いいただけます。大変人気なキャンペーンとなり、募集総額に達した時点で終了となりますので、お早めにご利用ください。



夏得キャンペーン開催中

JAオート長野
夏得キャンペーン
期間 6/10~8/31

JAハイゼット 125AA 133A
フロアマット&ロングバイザープレゼント
BOXティッシュ90箱プレゼント
下回り防錆塗装 6,600円割引

カタログギフトプレゼント! 最低下取り価格3万円

オートパル篠ノ井センターでは8月31日(月)まで「夏得キャンペーン」を開催しています。
期間中は新車のJAハイゼット・JAサンバー・JAキャリイをご成約の方に3大特典がついてきます!ぜひご利用ください!

- 特典1. フロアマット&ロングバイザープレゼント
- 特典2. BOXティッシュ90箱プレゼント
- 特典3. 下回り防錆塗装6,600円割引

【商談会】日時: 7月3日(金)、4日(土)9:00~15:00
場所: オートパル篠ノ井センター
当日、愛車の査定をさせていただいたお客様にBOXティッシュ5箱プレゼント!

【お問い合わせ先】
オートパル篠ノ井センター TEL292-1654
[営業時間]9:00~17:00 [定休日]日曜・祝日



農業と福祉がつながる「農福連携」はじめてみませんか

近年、農業の現場では深刻な人手不足が課題となっています。一方で、障がいのある方々が働く場を求めている福祉の現場も、就労機会の拡大が求められています。そんな両者をつなぐ取り組みが「農福連携」です。農福連携とは、障がい者の社会参画を促進し、農業者の人手不足解消につながるメリットがあります。

農福連携のかたちはさまざま

- 農業者や農業法人が障がい者を直接雇用する
- 農作業の一部を福祉事業所(障がい者施設など)に委託する
- 福祉事業所が農業に参入し、農産物の加工・販売を行うなど

福祉事業所が担う農作業の例

- 果 樹: 摘果、葉摘み、袋掛、収穫、剪定枝片付け
- 野菜・花き: は種、定植、選別、計量、袋づめ、ほ場片付け
- そ の 他: 水稲八掛け、大豆の選別、除草作業、きのこ収穫

はじめての方におすすめ!「お試しノウフク」

農福連携に興味はあるけれど、何から始めればいいのかわからない そんな農業者のみなさんに向けて、長野県では「お試しノウフク」を実施しています。この制度では、マッチング支援を行うコーディネーターのアドバイスを受けながら、福祉事業所との打ち合わせから農作業の委託までの一連の流れを体験できます。実際の作業を通じて、農福連携の可能性を実感できる貴重な機会です。

もっと知りたい方へ

作業の事例をまとめた動画や、事前準備、心構えのポイントをまとめたガイドブックを県HPで公開しています。ぜひご覧ください。



今月の表紙



第14回フォトコンテスト 「夕暮れ迫るプロムナード」

褒 賞 金賞
撮 影 者 湯本博康
撮 影 地 若穂
撮 影 月 6月

講 評 (フォトコンテスト審査員)

田植え前の水田を夕暮れ時に撮影し、水面の輝きと幾何学模様美しく表現された作品です。遊歩道や人物、電柱などが黒いシルエットで統一され、水面の幻想的な輝きを際立たせています。プロムナードという題名がぴったりの空間です。



セルフ給油所をオトクにご利用ください

JAセルフ給油所にてオトクに給油ができる「割引QRコード」(クーポン)をお届けいたします。

ぜひ、給油の際に機械にかざしてご利用ください。



▲7月15日まで有効

ご利用いただけるJAセルフ給油所

アグリしののいセルフ	TEL293-5660
長野インター松代セルフ	TEL290-6122
川中島セルフ今井	TEL285-7770
南長野公園前セルフ	TEL293-4831



農業に関するお悩みは グリーン営農相談センター にご相談ください

グリーン営農相談センターでは、新規・担い手の生産者をはじめ、農産物の出荷・販売を目的に農業を営む方のご相談に応じます。「個別相談会」では、JA担当者や行政等の農業関連機関が、就農や経営に関する課題の解決に向け、総合的にサポートいたします。農業で生計を立てる方・立てようとする方、就農に向けて効率的に準備をすすめたい方など、ぜひご相談ください！

グリーン営農相談センター 営農相談会

開催日	時間・会場	申込期限
7月23日(木)	9:00~12:00 共和センター	7月9日(木)
	13:00~16:00 川中島支所	
7月30日(木)	9:00~12:00 大岡店	7月16日(木)

個別相談会のお申込み方法

- ◇相談会は、より具体的なご相談に対応するため、事前申込みが必要です。
- ◇お申込みは、①または②のいずれかの方法でお願いします。

①WEB申込み

JAのホームページまたは、右記QRコードより専用申込みフォームにアクセスし、必要事項を入力の上、送信してください。

営農相談申込みフォーム▶



相談会対象者につきましては、出荷販売目的で農業を行う方・始める方が対象となります。家庭菜園などの出荷販売目的以外の方のご相談はお受けいたしかねます。

②「個別営農相談申込書」の提出

支所・よりそい店・共選所・流通センター・営農資材店舗に備え付けの申込書類に必要事項を記入し、ご提出ください。

相談会にご都合がつかない方は、別日程もご案内いたしますので、お問い合わせください。

お問い合わせ 営農販売部営農企画課
(担当:近藤) TEL.292-0930



川中島共選所からのお知らせ

川中島共選所の「直売所」につきまして、閉店することとなりました。(贈答用向け品の注文受付・発送は行います) 今後は「松代農業総合センター農産物直売所」およびA・コープファーマーズ店(松代店・篠ノ井店・南長野店)にて販売してまいります。

詳細については「EverGreen 7月号」にてお知らせをいたします。

ご理解とご協力をお願い申し上げます。

JAグリーン長野は持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献します！



SDGsの達成に向けて取り組んでいるよ

＊みんなのよい食プロジェクト

JAのうごき

理事会(第3回) 5月27日(水)

協議事項

- (1)第33回通常総代会について
- (2)第33回通常総代会の特別決議について
- (3)役員賠償責任保険の加入について
- (4)行政庁に提出する業務報告書について
- (5)組合と理事との契約について
- (6)農業開発事業について
- (7)固定資産の取得について

コンプライアンス(法令等遵守)への取り組み

コンプライアンス委員会幹事会 5月18日(月)

- ・コンプライアンスの実践状況について(令和8年4月)
- ・自主検査の実施状況について(同)
- ・課内会議の意見集約について(同)

経営会議 5月18日(月)

- ・コンプライアンスの実践状況について(令和8年4月)
- ・自主検査の実施状況について(同)
- ・課内会議の意見集約について(同)
- ・コンプライアンス研修「報告・連絡・相談の重要性について」

新採用職員コンプライアンス研修会 4月7日(火)

管理職コンプライアンス研修会 5月18日(月)

- ・コンプライアンスと所属長の責任と役割について
- ・内部通報制度について
- ・個人情報保護法違反について

常勤役員と室・部長、支所長・よりそい店長の面談

- ・内部統制の徹底および事業目標の確認を実施

協同の成果(令和8年4月末/5月経営会議報告)

農産物販売高	2億6,200万円
購買品供給高	11億5,710万円
貸出金	612億903万円
貯金	2,092億4,443万円
長期共済保有高	4,964億5,592万円

組合員数(4月末)	20,244名
┌ 正組合員	8,530名
└ 准組合員	11,714名

JAグリーン長野
ホームページ
(<https://www.ja-grn.ijjan.or.jp>)



JAグリーン長野
公式Facebook
(<https://www.facebook.com/jagrnnagano>)



あんずのヨーグルトゼリー

地元のおいしい食材を食べよう!

地産地消



【材料】12個分

あんずまたはあんずの砂糖漬け	50g
あんずジャム	50g
A 牛乳	400cc
砂糖	100g
粉ゼラチン	15g
プレーンヨーグルト	200g
生クリーム(植物性)	200cc
クラッカー	12枚



【作り方】

- 1 あんずは5mm角くらいに切り砂糖をまぶし、しばらくおいておく。(あんずの砂糖漬けを使う場合は5mm角に切る) あんずジャムはゼリーの上にのせて飾るため、ゆるい場合は少し煮詰める。
- 2 鍋に**A**を入れて弱火にかけ、混ぜながら人肌より少し温かくなるくらいにあたため、砂糖と粉ゼラチンが溶けたら火を止める。

- 3 **2**にプレーンヨーグルトと生クリームを入れ、泡立て器で混ぜる。混ぜたらそのまま少しおいておく。
- 4 ゼリーを固める容器を水でさっと濡らして、**3**のゼリー液を入れる。あんずの砂糖漬けを散らして入れる。ゼリー液の上にクラッカーを静かにのせる。ふたをして冷蔵庫で2時間以上冷やして固める。
- 5 固まったら型から外して皿にのせ、あんずジャムをのせて完成。



甘酸っぱいあんずがヨーグルトと生クリームを使ったまろやかなゼリーに合います。しっとりとしたクラッカーといっしょになっておいしいです。

女性部更北総支部ひがの加工のみなさん



人肌より少し温かくなるくらいにあたためる。



あんずの砂糖漬けをゼリー型に先に入れて、ゼリー液を注いでも良い。型から外したときにあんずが見えやすい。



クラッカーがゼリー液に沈まないようにそっとのせる。



今月の主役



JA長野厚生連
南長野医療センター篠ノ井総合病院
栄養科

あんず

あんずは6月から7月にかけて旬を迎える食材で、長野県は日本有数の産地です。あんずにはβ-カロテンが非常に多く(1400μg/100g)含まれており、アンチエイジングや視力の保持、抗酸化作用により脳卒中や心筋梗塞の予防にも効果があるとされています。カリウムや食物繊維も豊富に含んでいるため、高血圧予防や

便秘予防に効果があります。また、あんずにはリンゴ酸やクエン酸が含まれているため、疲労回復にも効果があります。